



災害に強く産業が伸びゆく

阿南の加速に向けて!

2つの大きな事業に進展がありましたので、市民の皆さまにお知らせします。



南部健康運動公園 全景

地域防災拠点の新たな整備

南部健康運動公園は、桑野町に位置し、徳島県が整備を行っている公園であり、このうち、体育施設については本市が管理しています。公園内には、野球場、管理棟、テニスコート、多目的広場、陸上競技場および屋内多目的施設を設置し、年間10万人程度の方々にご利用いただいています。当公園内のJ Aアグリあなんスタジアムにおいては、利用者の増加に伴い、利用したいときに利用できない状況が発生し、第2球場の設置を要望する声を野球関係者をはじめ、多方面からいただいています。さらに、近年、南海トラフ巨大地震や線状降水帯などによる集中豪雨がもたらす浸水被害、河川の氾濫など自然災害に対するリスクが高まる中、当公園においては、

物資の備蓄や非常用電源、広い空間を地域防災拠点として活用するなど、平時と災害時の両面で利用できる公園として位置づけられ、防災機能の向上が図られています。このような状況を踏まえ、令和7年徳島県議会6月定例会に

において、当公園の防災とスポーツ拠点として、地域特性を踏まえたさらなる機能強化に取り組みべきとの地元選出議員の質問に対して、施設設置者の徳島県から、「新たに大規模災害時に救助活動や物資輸送の拠点としての機能充実を図るため、まずは公園内に一定規模を有する『オープンスペース』を整備し、初動対応や復旧活動にあたる方々の宿营地ともなる受け入れ拠点を設ける。さらには、平時の公園機能の向上を図るため、地元阿南市と連携し、災害時だけでなく、日常使いも含めた利用者目線で活用を検討する」との知事答弁がありました。

本市としても、徳島県と連携し、オープンスペースの平時・災害時の活用検討を進め、市民の皆さまがより良い環境で活用できるような場所となるよう徳島県に働きかけていきます。

東西幹線道路の大きな進展

本市では、多くの企業が辰巳工業団地や大浜新浜工業団地などの「国道55号から東側」に立地していますが、本年度に開通が予定されている阿南ICの整備効果を最大限に発揮させるためには、物流の時間短縮や定時性の確保につながる国道55号と阿南ICを結ぶ幹線道路の整備が必要不可欠です。

そのため、本市では、県道富岡港南島線、都市計画道路下大野南島線などを「東西幹線道路」として位置付け、民間が主体となった「阿南市高規格道路等建設促進期成同盟会」と連携し、徳島県に対して早期整備の要望をこれまでも繰り返し行ってきました。



近い将来、「阿南安芸自動車道 桑野道路（阿南～桑野間）」が開通しますと、「東西幹線道路」、「一般国道55号阿南道路」を組み合わせた環状ルートが形成されることにより、地域経済発展への相乗効果が期待できます。こうした中、令和7年徳島県議会6月定例会において、地元選出議員の質問に対し、「地域経済の発展を支援する道路網整備として『阿南ICから、都市計画道路下大野南島線を経由し、辰巳工業団地を結ぶ道路』の調査・設計に速やかに着手する」との知事答弁があり、「東西幹線道路」また「環状ルート」形成の実施に向けて大きな進展がありました。

問い合わせ スポーツ振興課 ☎22-13394
広域連携事業課 ☎22-13197